

2020.10.1 (木)  
第12回例会  
(通算 3606 回)

## 2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博  
副会長 土橋 賢一  
幹事 荒井 剛  
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2020-2021 年度  
国際ロータリーテーマ



ロータリーは世界の扉を開く  
2020-2021 年度  
RI 会長 ホルガー・クナーク  
第 2500 地区ガバナー  
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間・米山月間
本日のプログラム	講師例会「我が国の安全保障環境と陸上自衛隊の取り組み」(担当: プログラム委員会)
次週例会	講師例会「新型コロナについて」(担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング: 「それでこそロータリー」 ■ソングリーダー: 吉田 英一君

■会員数 99 名

■ビジター なし

■ゲスト 陸上自衛隊釧路駐屯地 第 27 普通科連隊 連隊長兼釧路駐屯地指令 五日市 弘 之様  
陸上自衛隊釧路駐屯地 第 27 普通科連隊 広報班長 鈴木 経 人様  
陸上自衛隊釧路駐屯地 第 27 普通科連隊 第 1 科庶務陸曹 古川 治様

### 会長の時間

舟木 博会長



皆さん、こんにちは。本日は釧路ロータリークラブの第一例会で国歌・君が代の斉唱をしましたので、今日は自衛隊の皆さまが来たということで国歌・君が代のお話をしたいと思います。国家の基本的な知識をなかなか学校では教えていただけません。学校では小学校・中学校・高校すべてにおいて、われわれの時代、その後もそうですが、日教組等の国家・国旗反対運動みたいなものがございまして、その時に教えていただいたのが長い間刷り込まれて、正確な知識ではなく、ただ何となく嫌だなという形で過ごされた方がたくさんいらっしゃると思います。この機会に少し、詳しい話をさせていただきます。この「君が代」の元歌なのですが、なんと、平安時代に遡りまして延喜(えんぎ)5年、西暦905年、土佐日記で有名な紀貫之らによって作られた古今和歌集の中に「題名知らず、詠み人知らず」という形で記されています。その歌詞は長和2年、1013年の和漢朗詠集の中でも書かれています。現在は世界最古の国歌としてギネスに認定されています。この歌詞は

あまりに古いために、いくつかの説や解釈が存在していますので代表的な説をお話いたします。まずは、「君が代は天皇陛下のことを指す」という説がございます。元歌の歌詞は「君が代」ではなくて「わが君」となっております。平安時代、「わが君」という言葉は女性が男性に対して使う言葉だと言われております。つまり、愛の歌というか、ラブレターというか、そのようなことも考えられます。当時、天皇陛下には「大君の御代」という言葉を使うのが正しいと言われております。現在は天皇陛下を示すということが主流に解釈されております。また、「わが君」は周りの親しい人を指すという解釈もがございます。上は天皇陛下から庶民まで幅広い人を指す言葉とすることもできます。次に「千代に八千代」とはその言葉どおり尋常ではない長い年月の時間を指しております。「さざれ石の巖となりて」は細かい石が遠大な時間をかけて大きな塊になる様を言っております。さざれ石はヤマトタケルノミコトが苦しんだ伊吹山の麓にありまして、学名を『石灰岩・角礫(かくれき)岩』といいます。これは石灰岩が長い年月の間に雨水で溶解され、鍾乳石が少しずつ碎石を凝縮して岩となったものです。「苔むすまでは」の言葉も言葉どおり苔が生えるまで

の長い時間の比喩的表現です。

全体の意味は「あなたの命は小石が遠大な時間をかけて大きな石となり、その石に苔が着くまで長く続きますようにと祈っております」。

君が代はいにしへの大事な人をおもんばかりの優しい歌です。諸外国の国歌は勇敢な戦いの歌が多い中、優雅で落ち着いた雰囲気のある歌に民族の誇りを感じます。

次に作曲の話をしていただきます。明治2年の1869年、君が代はイギリスから招聘された軍楽隊長のジョン・ウィリアム・フェントンが現在と異なる君が代を作曲しましたが非常に評判が悪く、10年後の1879年にプロシア王国の作曲家フランク・エッケルトを招聘して、明治13年・1880年に宮内庁の奥好義が旋律をつけ、雅楽奏者の林廣守が曲を起し、エッケルトが西洋風の和声つけて編成されたとされております。一般に林廣守の名前が作者として書かれております。以後、日本国の事実上の国歌として外交辞令の場として演奏されるようになりました。

なお、法制されたのは平成11年1999年8月13日、平成おじさんの小淵恵三さんの時でした。

最後になりましたが、お手元に君が代の三番までの歌詞をお持ちしましたので、ぜひお持ち帰りください。歌詞の内容のように皆さまの永遠の幸せをお祈りし、挨拶させていただきます。清聴ありがとうございます。

### ■本日のプログラム■

講師例会「我が国の安全保障環境と陸上自衛隊の取り組み」

#### 陸上自衛隊釧路駐屯地第27普通科連隊 隊長兼釧路駐屯地司令一等陸佐 五日市弘之様

皆さん、こんにちは。改めまして、ご紹介いただきました第27普通科連隊長兼ねて釧路駐屯地司令の五日市と申します。よろしくお願いいたします。



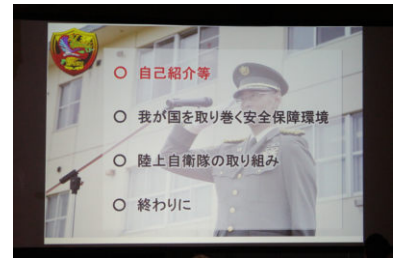
私、8月1日付けでこちらに着任いたしました。新型コロナウイルス対策で外に出てこのような会合等に参加する機会も全くなくて、この素晴らしい理念を掲げられている釧路のロータリークラブの多くの皆さまと懇親を深める機会をいただきまして、また、お話をさせていただける機会をいただきまして、本当にありがとうございます。つたない話、また食後には堅苦しい内容とは思いますがぜひお聞きいただければと思います。

最初に自己紹介をさせていただきます。出身は青森県、防衛大学卒業であります。昭和42年生まれで、現在53歳であります。家族は今東京におりまして、単

身赴任という状況です。趣味は写真、登山・ハイキングといったところです。主要な経歴はご覧のとおりですが、北海道は2回目の勤務で平成15年頃に25連隊・遠軽中隊長をしております。引っ越しは都道府県で回数だけでいくと13回、この中での異動も含め合計20回ほどしております。その内、14回は家族を伴った引っ越し、いわゆる転勤族です。

早速、中に入っていくのですが、承知かもしれませんが釧路駐屯地の沿革について説明させていただきたいと思っております。

釧路駐屯地は旧歩兵第27連隊が昭和19年に道東防衛の強化という目的で配置となりましたが、ほどなくして終戦を迎え、軍旗を奉焼、すなわち焼きまして50年の歴史に幕を閉じたという所です。その後、昭和28年に函館から移駐してきた部隊



によって編成され、昭和37年に第27普通科連隊が創隊しております。その後、数次の改変等を経て現在の駐屯地に至っているのが沿革です。

それでは、わが国を取り巻く安全保障環境、そしてその後、陸上自衛隊の取り組みについて簡単にご説明させていただきます。

この絵ですが、これは太平洋側からわが国を捉えた地図であり、わが国はユーラシア大陸から西太平洋への進出を抑える長大な壁ということが伺えると思えます。この特性からロシア・北朝鮮・中国が太平洋に進出するには、わが国の領域或いは周辺海空域を通過を行かなければならず、その意味でわれわれはこの戦略的な三正面の対応を常に備えておく必要があるという認識であります。

中国については大きな戦略の中で、第一列島線（沖縄から南西諸島・台湾に至るライン）、第二列島線（小笠原諸島からグワムに至る線）を設定し、A2ADという戦略、接近阻止、領域拒否という言葉を使っていますが、いわゆるアメリカが中国が侵攻してこないようにこの第二列島線から第一列島線の間で接近を拒否して、この第一列島線のラインでしっかりと止めるといって、わが国の領土をもって止めるという非常に憂慮すべき戦略を持っております。

パワーバランスと変化がこのところ非常に加速・複雑化し、既存の秩序をめぐる不確実性が増大をしております。特に最近のトピックス、第一番目としては、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の利用の急速な拡大。これは国家の安全保障の在り方を根本的に変革をする可能性があります。

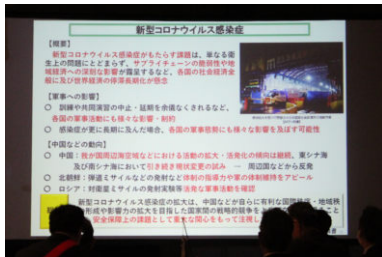
第二にわが国を取り巻く安全保障環境は、過去の想定よりも格段に速い速度で厳しさと不確実性を増大して



いる状況であります。

そんな中、各国の動向ですが、米軍は世界的、地域的な秩序の修正を試みる中国やロシアとの戦略的な競争が特に重要な課題と認識しており、力を背景とした現状変更やハイブリット戦に対応するため、戦略を再検討し国防費を大幅に増額させている状況であります。

中国は国家目標「中華民国の偉大な復興」で「2050年頃には世界一流の軍隊を創設する」を目標とし、逐次段階的に軍備を増強し、特に先ほど言ったA2AD能力を重視するとともに宇宙・サイバー・電磁波領域に関する能力強化を図っております。そして、わが国周辺地域における活動も質量とともに拡大・活発化しており、特に尖閣諸島周辺地域については一方的にエスカレートさせている。また、沖縄と宮古島間の艦船の通行、戦闘機等の飛来等も非常に増えていて極めて憂慮する状況であります。



また、北朝鮮についても非対象戦力として

大規模なサイバー部隊、そして特殊部隊を保持しており、弾道ミサイルの開発を更に進展させた場合、軍事的な挑発行為の増加・重大化につながる可能性があり、そういった意味でもわが国の安全に対する重大かつさしせまった脅威という認識であります。

ロシアについても、「強いロシアの建設」を目標とし、どんどん軍備を拡大しているのは皆さん承知のとおりだと思います。特に極東でも戦闘機や地对艦ミサイルの新たな部隊等の配備の傾向が見られ、つい先日の報道でもありました、国後島や択捉島において大規模な演習を実施しています。ロシアは装備の近代化を推進し、北方領土及び千島列島における軍備を増強する等、活発化の傾向にあります。

こういった状況に加え複雑化をしている内容として、新型コロナウイルス感染症があります。経済的な懸念もそうですし、軍事活動においてもさまざまな影響・制約があり、日米共同訓練等もだいぶ縮小しているところが実際にあります。そういった中、中国・北朝鮮・ロシアはほぼお構いなしにその活動を活発化させていることで、非常に重大な関心を持って注視していく必要があります。

これらを踏まえまして陸上自衛隊の取り組みについてご説明します。

まず、具体的な取り組みの前に、予想される新たな戦い方の予想について説明します。

ひとつ目はグレーゾーン事態。よく新聞でも最近出ておりますが、武力攻撃に至らないさまざまな手段、報道・テロ・反戦デモ・サイバー攻撃、不法行動、さら

には特殊部隊等による破壊活動等により自らの主張を受け入れ相手に強要し、わが国の主権・領土・国民に対する現状を試みるものと思われま。もしかしたらもう既に進行中なのかもしれないという見方もあります。

また、2点目としては、新たな領域を用いた戦い。宇宙・電子戦・サイバー攻撃等の新たな領域やミサイル攻撃、航空攻撃、着上陸侵略等、従来の領域を用いて奇襲的な攻撃により侵略するものと予想されます。

そして、そのグレーゾーン事態における対応として、敵の機の解明と対処方針の確立が極めて重要であり、そのような兆候を早期に察知するために海空自衛隊との連携、そして日米、他国間との共同連携を深めてまいります。

また、ふたつ目としては、抑止体制の強化による軍事のコントロールということで、敵の奇襲的な侵攻に対応するため平素から部隊を配置するとともに、機動師団・旅団を迅速に機動展開して抑止をする体制をとります。

次に新領域を用いた戦いによる対処がありますが、非常に大事なこととしては基盤の行使で、港湾・空港等の作戦基盤を防護するのが極めて大事になります。また、ふたつ目の統合・共同による対処で、宇宙・サイバー・電磁波領域における妨害等により火力打撃の条件をわれわれが実施して、より遠くから効果的に火力打撃を実施することで敵の侵攻阻止、撃破を図ります。ここで防衛力整備の推移を若干説明いたします。現在、30大綱に基づき実施をしておりますけれども、通常大綱は10年位をスパンとして作るもので、情勢の変化があまりにも激しいことから、その大綱を変えていく間隔が極めて短くなってきているのが現状です。なお、この30大綱については、この激しい急激な変化を踏まえて、従来の延長線上ではない、真に実効的な防衛力を構築するという観点で昨年度12月に閣議決定されています。

その大綱の考え方ですが、まず防衛の目標として、わが国にとって望ましい安全保障環境を創出する。そして「わが国に手出しをしたらタダじゃすまないぞ」ということをしっかり知らしめ抑止をすること。そして、確実な脅威への対処と被害の最小化を目標に挙げています。

そのために、目標達成の手段としてわが国自身の防衛体制の強化、日米同盟の強化、そして安全保障協力の強化を手段として掲げ、陸上自衛隊としてはそれを踏まえた多次元統合防衛力の構築を提唱しております。その内容について説明します。まず、南西地域への部隊配置の推進です。25大綱の策定時には、沖縄本島にしか陸の部隊は存在しませんでした。先ほど言った中国の浸出という観点でまずいことから、平成27年度末には与那国島に沿岸監視隊を、30年度末には奄

美大島、宮古島に部隊の配置をし、石垣島にもなるべく早く警戒・監視のための警備部隊を配置する計画をしております。

また、師団・旅団の改編で、即応機動する部隊ということで当第5旅団についても、改編が予定されており、その中で2個の普通科連隊とひとつの即応機動連隊をつくる考えであります。

これにより平素から常統的な機動展開訓練を実施するとともに緊急展開に対処できるように準備をいたします。

また、サイバー作戦能力の強化ということで常統的な情報収集・防衛体制を構築するとともに相手方によるサイバー空間の利用を妨げる能力を整備することで、陸自が主体となって、また陸自のサイバー防衛隊を新編し、陸海空も主導していく内容を計画しております。また、電磁波領域の部分も、これからはなりましたが、さまざまな装備品等の取得・研究開発の実施をしていく予定です。

さらにスタンドオフの地上火力の保持で、敵の侵攻を試みる部隊の脅威を圏外から隊員の安全を確保しつつ、わが国への攻撃を効果的に阻止するスタンドオフ地上火力を整備する準備をいま着々と進めているところであります。

また、戦略的な活動で、平素からさまざまな訓練等を通じて海空自・米軍・関係機関との連携をして、対処の実効性を向上させて戦略的なメッセージを発信していく考えであります。各種レベルにおいて連携をしっかりととり、特に米陸軍・海兵隊と密接に連携をして、インド太平洋地域における日米のプレゼンスの向上に向かって取り組んでおります。

また、日米共同の各種共同演習、安全保障協力の推進、質の高い国連PKO等の活動を通じ高い能力、そして士気を国際社会に発信して、わが国への信頼獲得に貢献します。

民生安定に向けた努力では、災害派遣を主体として、国民の生活安全・安心に寄与してまいります。さらに新型コロナウイルス感染症を受けた取り組みではありますが、さまざまな活動を実施しております。皆さんご承知のとおり、当初、武漢からのチャーター機への看護官の派遣、一時滞在施設における生活支援等を実施をしました。その後、新型コロナウイルス感染症に対する災害派遣でダイヤモンドプリンセス号への対応では医療・生活の支援、輸送の支援を実施しております。この際も自衛隊の病院は、約104名の患者の内容を速やかに分析・開示をして今後の対応に寄与したのです。また、水際対策強化ということで空港における検疫、宿泊の施設への輸送支援など実施しております。さらに自衛隊病院の取り組みでは、自衛隊病院等に陽性者の受け入れでは、5月31日現在で430名を受け入れてしっかりと対応しております。この写真はド

イツ人ですが、外国人の対応についての感謝のお手紙等もいただいております。自治体等の求めに応じて感染症防止の教育なども実施しております。また、インターネット、防衛省・統合幕僚幹部のホームページに感染予防対策などのビデオ等の公開をしております。そして、これらのさまざまな活動を通じて、防衛省・自衛隊については活動に従事した隊員の二次的な感染者についてはゼロでした。

次に先ほどの民生の安定で、災害派遣の90%は実は緊急患者空輸でありました。特に、離島間の緊急の輸送等を実施して地域の特性に応じた活動を実施し貢献をしております。また、まだまだ不発弾が残っており、実施をしているところです。また、警察等との連携をしっかりと強化し、不法行動対処等も取れる体制を取っております。

さらに即応体制の維持ということで沿岸監視部隊。この近くですと標津に沿岸監視隊があり、警戒監視。また、災害派遣等に備えて全国それぞれの部隊、わが部隊においても初動対処部隊が24時間体制で待機しております。

これはわれわれの部隊の話になりますが、災害派遣の実績としては釧路沖地震、北海道東方沖地震、羅臼の暴風雪、それから洪水にも対応もしております。最近はそのような大きなものはないですが、鳥インフルエンザも含む派遣等も実施しております。また、熊本地震の増援にも行っております。



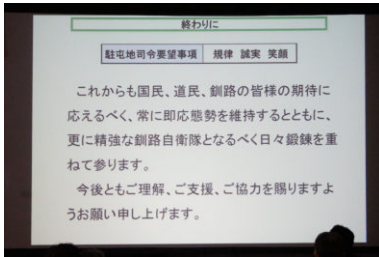
こういった活動をしている陸上自衛隊ですが、実際は厳しい対応環境で、募集適齢の人口がどんどん減っている中で今現在、コロナウイルス関連で求人倍率1.1位まで落ちてきていても、その人材確保は非常に大きな課題であります。

これは現在の厳しい採用状況ですが、毎年採用している自衛官のほぼ90%は自衛官候補生と一般曹候補生という、いわゆる士という階級の採用がほとんどです。この一般陸曹候補生というのは将来、曹という階級になるのを前提とした人たちで、定年まで勤務することを前提としている人たちです。そして、自衛官候補生は任期制単位と言いまして、ある一定期間勤務したあとは退職して民間企業等に再就職する選択肢を持った人たちです。もちろん、ここから陸曹の試験を受ける人たちもおります。この募集の採用計画数を5年連続達成できていないという状況であります。

これらを踏まえて処遇等の改善、あるいは採用の条件緩和等を実施して、何とか拡大したい。また、今女性活躍が全体的に言われておりますが、女性の採用数を拡大していこうと考えています。



ちなみに処遇ですが、配慮いただきまして給料等につきましても、初任給が大卒で19万8,100円。高卒17万9,200円と発表させていただいております。この給料については警察・消防も素晴らしいと思うのですが、警察・消防よりも高い給料となっています。ぜひ皆さんの近くの若い方に言っていただければと思います。



これに関わる入口の話をしたのですが、この実際に任期制の人たちに一旦任期を満了したあとに再就職するとなりますが、

その後には即応予備自衛官という制度があり、企業等で働きながら即応予備自衛官という身分でという選択肢もあります。この際、即応予備自衛官は年間30日の訓練招集ということで、その間は仕事はできないこととなりますが、そういう身分でなっただけで毎月4万2,500円を企業に対する給付金、年間にしますと1人あたり51万円を給付する制度が定まっております。また、最近は災害派遣でも予備自衛官等が出るようになっていますが、そういうので招集された場合には、日額1人3万4,000円を企業に支払う制度もあります。ぜひ即応予備自衛官という制度に協賛いただきまして採用していただければと思います。

また、退職自衛官の活用ということで、特に防災関連のところでは活躍している自衛官も多数あり、特にこれは幹部であります。各地方自治体の防災担当・危機管理担当で活躍しています。再就職に関しては若干の懸念もあまして、われわれには若年定年退職制ということで陸曹であれば55歳で定年、幹部であれば56もしくは57で定年ということで、65歳の年金受給までは期間があることで、65歳まで再就職できる企業もありますが、まだ60歳定年という企業が多数ありまして、さらに個人的に就職活動をしなければならぬ部分もあり、ぜひ65歳定年で企業で再就職させていただけるように援護の担当からも各企業等においているところであります。

以上、るる述べましたけども、陸上自衛隊は新領域の作戦の要としてわが国の主権・領土・国民を守りぬいていく考えであります。

最後に私と釧路駐屯地におきまして『駐屯地司令要望事項』として「規律・誠実・笑顔」の3つを掲げております。規律というのは実力組織である以上、厳正な規律を保持していなければいけないということ。また誠実には2つの意味があり、当駐屯地については10個くらいの部隊等がありますが、それぞれの任務に基づいてしっかりとその任務を遂行する。その役割を果たしていくことが皆さまの信頼につながる。そういう

意味でしっかりと任務を遂行するという誠実。もうひとつは正しい行いをする、皆さまに信頼をしていただける行いをしていこうと書いています。最後に笑顔。これは仕事あるいはプライベートがしっかりと充実していると、自然と笑顔が出てくると認識しております。また、部外の皆さん、地域との皆さんとも笑顔で接してほしい。そして、笑顔であふれる駐屯地を目指したいとして掲げております。

以上、拙い説明でありましたが、これから皆さまの期待に応えられるよう日々鍛錬を続けてまいりたいと思います。ぜひ、これからもご理解・ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。拙い説明ではございましたが講話を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。以上です。

### 会長謝辞 舟木 博会長

五日市連隊長におかれましては、ご多忙中の中、またコロナで外出を控えている中、わざわざ当クラブにおいでいただき、またご講演、誠にありがとうございました。

「わが国の安全保障と陸上自衛隊の取り組み」というタイトルで近年の軍事的なパワーバランスの変化をわれわれにも分かりやすく紐解いていただき、大変ありがとうございました。わが国の安全保障に対する認識をさらに深めることができました。

1950年に始まった警察予備隊から保安庁・保安隊、さらに防衛庁・陸上自衛隊。そしてついに最後には2007年防衛省として陸上自衛隊がその質と装備を充実してまいりました。

最近では、先ほどのようにサイバー部隊、弾道ミサイル、島嶼防衛の3つの部隊でサイバー部隊、弾道ミサイル防衛部隊、島嶼防衛用高速滑空弾部隊と新たな時代に即応した防衛力の必要に迫られております。大変ですが、頑張ってくださいと思います。

最後になりましたが、連隊長はじめ陸上自衛隊の皆さまのますますのご健勝を祈念してお礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。